

乳幼児健診におけるアンケート併用の効果

その2. アンケート用紙からみた先天異常

伊藤 玲子 (秋田県衛生科学研究所)
丸山 完 (秋田県環境保健部)
熊谷 藤雄 (秋田県環境保健部)
(秋田県小児保健会)

はじめに

秋田県では、小児保健会医師グループの協力を得て、昭和47年6月より、乳幼児健診にアンケートの併用を行なっている。昨年は、47年6月～48年12月までの3カ月児、5421名(38市町村)、12カ月児1610名(26市町村)の主に母親側の記入の実態について調査し、母親の注意、関心に地域差のあること、そして、アンケートをみる場合、農村の特殊な背景も考慮に入れる必要のあることを痛感した。

今年は、49年1月～12月までの3カ月児2959名(43市町村)、12カ月児1787名(22市町村)を加え、母親の記入状況を調査するとともに、アンケート用紙の上から見た、先天異常について、健診ならびに追跡調査をとおし、地域における健診のアンケート併用の効果ならびに反省の資料としたい。50年度報告は、後者について行なうこととする。(表1)

アンケート用紙から得られた先天異常

1) 調査対象, 方法

48. 49年の郵送案内の乳児健診にあわせて行なった3カ月児5607名(45市町村)、12カ月児3164名(26市町村)のアンケート用紙を、健診時点の医師の診断転記の上で回収した。これらの市町村を、農林省経済地区帯区分に従い、秋田市(A)、平地農村(B)、農山村(C)に分け、いわゆる先天異常を地区別に把握してみた。

2) 成績

表2. 3は、3カ月、12カ月健診時点の、いわゆる先天異常の診断ならびに疑診の情報が得られたものの、年度別、地区別状況である。3カ月児では5607名のうち416名(7.4%)、12カ

月では3164名のうち89名(2.8%)、となっている。この中で、健診前にすでに受診しており、母親が既往歴、現病歴の項に記入している者が、3カ月で68名(1.63%)、12カ月で27名(30.3%)である。医師の診断で既往、現病に記載のないもののうち、明らかに母親のチェックが情報として有効なものが、3カ月で76名(1.83%)、12カ月で24名(2.70%)で、母のチェックなしのものが3カ月で272名(6.54%)、12カ月で38名(4.27%)である。(表4)

総数の上からは、地区別の差はほとんどないが、疾患の種類別状況に地域差があり、母親の関心にあわせ、専門医の偏在、健診の回数等も考慮していくことが必要と思われる。

アンケートによる追跡調査からの先天異常

集団健診の効果として、3カ月時点の問題が、その後の発育にどのように関連しているのか、また、母親のアンケート記入の観察状況を考慮する資料を得たい目的で、先天異常を想定させるアンケート項目にチェックされた者に、別紙の質問を郵送し追跡を行なった。

1) 調査対象, 方法

47. 49年(2カ年)の3カ月健診5732名の中から、アンケートのチェック項目が表5の12項目の何れかにチェックされているもの1502名に対し、3カ月健診で母親が記入したアンケート用紙と質問紙を同封の上、郵送による回答を求めた。調査時期は、47年健診の再調査対象627名は、49年9月(児年令2才3カ月～1才9カ月)49年健診の再調査対象875名は、50年9.10月(児年令2才1カ月～1才0カ月)に実施している。

回答数は913名であるが、このうち不備23名を除き、集計数890名であり、調査対象から転居先不明で返送108名を除いた分に対する実質回答率は63.8%である。

2) 成績

a) 3カ月アンケートチェック項目に対する回答。

表5にみる如く、何もしないが健康79.0%、治療して健康18.4%、現在治療中2.2%である。現在継続治療中の20名について、3カ月時のアンケート記入状況と対比してみると、表6の如くで、8名は母のアンケートチェックが一応疾病を想定するに有効であり、11名は3カ月健診受診前に診断をうけており、1名は全く気づいておらず診察によるものである。

b) 現在の健康状態の回答

3カ月健診後から現在までの健康状態についてみると、表4の如く、全く健康80.7%、現在病気治療中11.0%、事故にあった4.8%である。現在病気治療中98名のうち、そのほとんどは感染症、皮膚疾患、消化器病、事故等であるが、いわゆる先天異常を考慮して経過観察を必要とするものは表7の6名で、股関節脱臼2名、歩行障害1名、心臓疾患1名、言語障害疑1名、くる病疑1名となっている。これを3カ月時のアンケートと対比してみると、股関節脱臼2名は、母親のチェックも、医師の診断もそのことにふれていない。また、他の3名は「首すわりがまだ」の項にチェックがあり、言語障害疑は、その他の心配なことの事項として、舌小帯の癒着を想定し得る記載がされている

ま と め

地域における乳児集団健診のアンケート併用の効果、ならびに反省の資料として、アンケート用紙の上からみた先天異常について調査を試みた。

1) アンケート用紙から得られた先天異常

a) 健診時点でいわゆる先天異常の診断ならびに疑診の情報が得られたものは、3カ月健診受診者5607名のうち416名(7.4%)、12カ月健診受診者3164名のうち89名(2.8%)である。

b) 既往、現病歴から情報の得られたものが3カ月で16.3%、12カ月で30.3%、母親のアンケートチェックで診断の想定に助けとなった者が3カ月で18.3%、12カ月で27.0%である。

2) アンケートによる追跡調査からの先天異常

先天異常を想定させるアンケート項目にチェックされた者1502名に対し、郵送による追跡調査を行なった。回答率は63.8%である。その結果、

a) 3カ月アンケートチェック項目に対する回答で、890名中、何もしないが健康70.3%(79.0%)、治療して健康164名(18.4%)、現在継続治療中は20名(2.2%)であり、この20名のうち、母のチェックが診断に有効なもの11名既往、現病歴から情報の得られたもの8名である。

b) 3カ月健診以後に判明し、追跡調査で現在病気治療中の98名のうち、先天異常を考慮して注意の必要な者は6名(6.1%)で、3カ月時のアンケートチェックから想定される者は1名である。

文 献

- 1) 伊藤玲子他：アンケート方式の採用と妊産婦新生児、乳幼児健康相談票改訂
秋田衛科所報 16 昭46
- 2) 伊藤玲子他：乳幼児健診におけるアンケート併用効果、その1母親(家族)のアンケート記入の実態、厚生省心身障害研究報告 昭49
- 3) 秋田県農業統計要覧、秋田県農政課、昭45

別紙

おかあ様へのお願い

夏もそろそろ終りに近づきました。御家族の皆様にはお元気でこの夏をおすごしのことと思います。
 私たちは、県内のお子さん方がみんな健康に育つように努力しているものでございます。お子さんの健全な発育を
 願い、保健所や、市町村でも乳幼児健康診断を行なっていることは、御承知のとおりでございます。
 つきましては、お宅のお子さんが乳児健康診断を受けられました際のアンケートによりますと、同封用紙の個所に
 印をつけてございますが、その後どのような経過をたどり、現在はどのようにしていらつしやいでしょうか。
 御繁忙中恐縮でございますが下段の「返送用紙」に御記入の上、切りとつて同封のアンケート用紙と共に9月3日
 日まで御返送下さいませよう、よろしくお願いいたします。

昭和49年9月

秋田県衛生科学研究所長 児島三郎

さ り と り

No

昭和49年 月 日(記入者名 続柄)

お子さんの名前 男・女 第()子 昭和 年 月 生(才 カ月)

注(該当する数字を○で囲み点線下に記入下さい)	アンケートの回答	1. 何もしなかつたが 現在健康
		2. 治療を受けて 現在健康 (その時の病名)
		3. 現在治療中 (病 名)
		4. その他気づいたこと
現在の健康状態		1. 全 く 健 康
		2. 病気をした { 病 名 才 カ月頃 病 名 才 カ月頃 病 名 才 カ月頃 }
		3. 現在病気で治療中(病 名 昭和 年 月 日頃から)
		4. その他気づいたこと
注(記入欄を○で囲んで下さい)		1. 事 故 に あ つ た (傷病名 才 カ月頃)
		2. 事 故 に あ つ て 現 在 治 療 中 (傷病名 昭和 年 月 日頃から)
		3. な か つ た

常にお子さんの健康状態を相談するきまつたお医者様(家庭医・主治医)はおいでですか。
 いる。 い な い。 きまつていない。

常にお子さんの健康状態について保健婦さんに相談をしていますか。
 している。 たまにする。 しな い。 したいが近くにいない。

-ありがとうございました。-

表1 アンケート調査対象 (昭47.6~49.12)

月令 事項 経済地区帯別	3カ月					12カ月				
	市町 村数	調査数			計	市町 村数	調査数			計
		47年	48年	49年			47年	48年	49年	
A.(秋田市)	1	1,870	1,739	996	4,605	1		1,253	1,445	2,698
B.(平地農村)	24	523	617	1,467	2,607	16	84	90	220	394
C.(農山村)	25	380	292	496	1,168	18	149	34	122	305
計	50	2,773	2,648	2,959	8,380	35	233	1,377	1,787	3,397

47年3カ月のみ湯沢市が経済地区帯区分でBとCに分れるが、市町村数ではBに入れてある。

表2 3カ月健診時点で先天異常がチェックされた例数

年		49年			48年			計			合計
地区別		A (秋田市)	B (平地農村)	C (農山村)	A (秋田市)	B (平地農村)	C (農山村)	A (秋田市)	B (平地農村)	C (農山村)	
調査数		996	1,467	496	1,739	617	292	2,735	2,084	788	5,607
異常数		57	94	34	118	75	38	175	169	72	416
%		5.7	6.4	6.9	6.8	12.2	13.0	6.4	8.1	9.1	7.4
先天	フェニルケトン尿症		(3)			(1)			(4)		(4)
代謝	その他				(1)			(1)			(1)
精薄	ダウン症		(1)			(1)			(2)		(2)
頭部	小頭症		(3)		2				2	(3)	2
	その他		1						1		1
顔面	目・耳		4	2	5	(1)	1	1	5	(1)	5
	兔唇・口蓋	1				1		1	1		2
	その他	3	5	4	3	8	4	6	13	8	27
頸部	斜頸	11(2)	9(3)	2(1)	14(10)	6(2)	2	25(12)	15(5)	4(1)	44(18)
胸部	胸郭異常	2	5	1	1	1	4	3	6	5	14
内臓	心臓奇型	2	2(1)	2(1)	4(2)	2(1)		6(2)	4(2)	2(1)	12(5)
	消化管狭窄閉鎖	2	1					2	1		3
	そけいヘルニア	1	4 ^{0,p} ₍₁₎	1 ^{0,p} ₍₃₎	8	3		9	7 ^{0,p} ₍₁₎	1 ^{0,p} ₍₃₎	17 ^{0,p} ₍₄₎
	性生殖器異常	1	1		6(1)	1		7(1)	2		9(1)
	その他			1		1			1	1	2
四肢	先天股脱	18(8)	2(42)	(15)	4(41)	1(21)	1(3)	22(49)	3(63)	1(18)	26(130)
	合指(趾)症				2			2			2
	その他	4	3		4	1		8	4		12
持続的 問題 症状	アレルギー体質		2						2		2
	けいれん・てんかん		1		(1)			(1)	1		1(1)
	喘息性気管支炎		(2)	(2)	3(8)	(25)	(24)	3(8)	(27)	(26)	3(61)
	発育不良	2	1		3			5	1		6
ダブルチェック計		57	97	35	122	79	39	179	176	74	429
市町村数		1	22	20	1	12	10	1	23	21	45

() 疑

表 3

12 カ月健診時点で先天異常がチェックされた例数

年		49年			48年			計			合計
		A (秋田市)	B (平地農村)	C (農山村)	A (秋田市)	B (平地農村)	C (農山村)	A (秋田市)	B (平地農村)	C (農山村)	
調査数		1,445	220	122	1,253	90	34	2,698	310	156	3,164
異常数		37	5	2	40	3	2	77	8	4	89
%		2.6	2.3	1.6	3.2	3.3	5.9	2.9	2.6	2.6	2.8
	ダウン症				1			1			1
	皮膚異常	1 (1)						1 (1)			1 (1)
頭部	水頭症	1						1			1
	その他				2			2			2
顔面	目・耳	1			2			3			3
	兔唇・口蓋				1			1			1
	反対咬合	1			1		1	2		1	3
	その他				1			1			1
頸部	斜頸	5	2		1			6	2		8
胸部	胸廓異常	2		1	5	2		7	2	1	10
内臓	心臓奇型	4 (2)	2		5 (1)			9 (3)	2		11 (3)
	そけいヘルニア	② 1 (1)	1		7			② 8 (1)	1		② 9 (1)
	生殖器異常	2 (1)		1	6		1	8 (1)		2	10 (1)
	その他	1			1 ①			2 ①			2 ①
四肢	先天股脱	5 (1)			3 (3)	1		8 (4)	1		9 (4)
持続的 問題 症状	喘息性気管支炎				(1)			(1)			(1)
	発育不良	6						6			6
ダブルチェック計		38	5	2	42	3	2	80	8	4	92
市町村数		1	11	10	1	7	5	1	13	12	26

() 疑

表4 3カ月健診で先天異常がチェックされたもののアンケートとの関係

年	地区	異常数	49年				48年				合計
			A (秋田市)	B (平地農村)	C (農山村)	計	A (秋田市)	B (平地農村)	C (農山村)	計	
事項			57	94	34	185	118	75	38	231	416
既往, 現病記載あり			15 (26.3)	9 (9.6)	4 (11.8)	28 (15.1)	24 (20.3)	10 (13.3)	6 (15.8)	40 (17.3)	68 (16.3)
診医師 からの	母のチェック情報有効		8 (14.0)	19 (20.2)	9 (26.5)	36 (19.5)	31 (26.3)	8 (10.7)	1 (2.6)	40 (17.3)	76 (18.3)
	母のチェックなし		34 (59.6)	66 (70.2)	21 (61.8)	121 (65.4)	63 (53.4)	57 (76.0)	31 (81.6)	151 (65.4)	272 (65.4)

()%

12カ月健診で先天異常がチェックされたもののアンケートとの関係

年	地区	異常数	49年				48年				合計
			A (秋田市)	B (平地農村)	C (農山村)	計	A (秋田市)	B (平地農村)	C (農山村)	計	
事項			37	5	2	44	40	3	2	45	89
既往, 現病記載あり			18 (48.6)	2 (40.0)	0	20 (45.5)	7 (17.5)	0	0	7 (15.6)	27 (30.3)
診医師 からの	母のチェック情報有効		10 (27.0)	2 (40.0)	0	12 (27.3)	10 (25.0)	1 (33.3)	1 (50.0)	12 (26.7)	24 (27.0)
	母のチェックなし		9 (24.3)	1 (20.0)	2 (100.0)	12 (27.3)	23 (57.5)	2 (66.7)	1 (50.0)	26 (57.8)	38 (42.7)

()%

表5

アンケート調査の追跡

総調査数	再調査対象数	返送数	※実質回答数・率
5732	1502	913	890・63.8

※再調査対象数から宛先不明を除く返送数から不備を除く

アンケート集計状況 再調査の対象とした項目について
47.6~12.49.1~12 調査
(3カ月児)

再調査回答状況
49.9.50.9~10 調査
(2才3カ月~1才0カ月児)

アンケート項目 (内容)	再調査対象 1,502	回答 890
あやしても笑わない	9	7
首がしっかりすわっていない	572	252
からだの形や色がおかしい	1,160	683
あまり泣いたり動いたりしない	19	12
からだをやわらかくしゃっきりしない	43	22
うでや足がかたい 手足の動きがおかしい	22	11
おふろ, 授乳, 泣いたとき青くなる	24	18
生まれたときから, 顔色が変わる	38	24
尿の出方や色がおかしい	39	23
ひきつけをおこしたり, 意識を 失ったことがある (熱なし)	(18) 41	(14) 22
今まで, どんな病気にかったか	411	141
現在治療中の病気	257	97

[ダブルチェック]

地域・集計数(例)		秋田市	秋田市以外 (49市町村)	計
3カ月児項目について	調査内容	450	440	890
	1.何もしないが健康	354(78.7)	349(79.3)	703(79.0)
	2.治療して健康	75(16.7)	89(20.2)	164(18.4)
	3.現在治療中	7(1.6)	13(3.0)	20(2.2)
現在の健康	4.記載なし	4(0.9)	11(2.5)	15(1.7)
	1.全く健康	349(77.6)	369(83.9)	718(80.7)
	2.現在病気治療中	42(9.3)	56(12.7)	98(11.0)
	3.事故にあった	21(4.7)	22(5.0)	43(4.8)

[ダブルチェック]

表6

再調査時点でなお現在治療中のもの(20名)

	3カ月時の診断名	アンケートチェック状況	性	再調査月令
断の想定に助けとなるもの	血管腫	㊦12(左足くび皮膚)	女	1Y11M
	血管腫	㊦12(手皮膚)	女	1Y 8M
	兔唇	㊦12(口)	男	1Y10M
	心臓疾患	㊦16(ふろ,授乳,泣いたときに青くなる)	女	1Y 9M
	先天性白内障	㊦12(目)㊦26(光をきらう,涙が出る)㊦27(目つきおかしい)	女	1Y 8M
	血管腫	㊦12(背柱)	男	1Y 5M
	右そけいヘルニア	㊦12(ヘルニア)	男	2Y 1M
	両眼内斜視	㊦12(目)㊦27(目つきおかしい)	女	
現病歴に記載のあるもの	左手分婁痺痺	㊦12(手)㊦15(うでやあしがかたい,動きおかしい)㊦3(片手まひ)	男	1Y 5M
	斜頸	㊦12(頭)㊦31(斜頸)	女	1Y 2M
	右内反足	㊦12(足,ギプス使用中)	女	2Y 0M
	喘息性気管支炎	㊦5(首すわりまだ)㊦12(皮膚)㊦31(気管支炎)	女	1Y 9M
	斜頸	㊦12(くび)㊦31(斜頸治療中)	女	1Y 7M
	斜頸	㊦5(首すわりまだ)㊦12(くび)㊦31(生後21日から斜頸治療中)	女	1Y 8M
	慢性涙囊炎	㊦12(目,耳,くび)㊦31(涙囊炎治療中)	女	1Y 7M
	左そけいヘルニア	㊦12(脱腸)㊦30(1Y1MでOP,その後治療中)	男	1Y 2M
	心臓疾患	㊦17(生れた時から顔色が悪い)㊦31(心臓治療中)	男	1Y 1M
	右内反足	㊦12(足)㊦30(右内反足)	男	2Y 3M
	心室中隔欠損症 股関節脱臼	㊦5(首すわりまだ)㊦12(足)㊦30(心室中隔欠損,股脱)	女	2Y 0M
	先天性心疾患	㊦12(頭)	女	1Y 2M

アンケート㊦12……からだの形や色がおかしい

㊦30……既往歴

㊦31……現在治療中

表7

現在の健康状態から

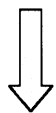
調査時年齢	性	現在の病名	発見時期	3カ月時のアンケートのチェック	備考
1Y8M	女	股関節脱臼	9Mから	㊦12(頭,顔,耳)㊦31(斜頸)	斜頸現在治療
1Y8M	女	股関節脱臼	5M頃気づく	㊦5首すわり(4M)*㊦12(ヘルニア)	ヘルニア現在治療
1Y6M	男	歩行異常(歩む)	1Yすぎ気づく	㊦5首すわり(4M)*㊦30(腸重積症)	腸重積症,手術して現在治療
1Y0M	女	心臓疾患	?	㊦5首すわり(?)*㊦12(頭)	
1Y6M	男	言語障害(観察中)	?	㊦12(首)㊦35(舌下がついている)	舌小帯1才3カ月手術
1Y2M	男	くる病疑	?	㊦5首すわり(7M)*	

アンケート㊦12 からだの形や色がおかしい ※()月令は追跡調査から

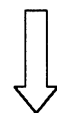
㊦30 既往歴

㊦31 現在治療中

㊦35 その他気になること



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



はじめに

秋田県では、小児保健会医師グループの協力を得て、昭和47年6月より、乳幼児健診にアンケートの併用を行なっている。昨年は、47年6月～48年12月までの3ヵ月児、5421名(38市町村)、12ヵ月児1610名(26市町村)の主に母親側の記入の実態について調査し、母親の注意、関心に地域差のあること、そして、アンケートをみる場合、農村の特殊な背景も考慮に入れる必要のあることを痛感した。